

茨城県近代美術館 平成 25 年度の企画展

3月27日（水）～5月19日（日）

朝霞市 丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩・素描展

同時開催 丸沼芸術の森 アトリエの作家たち

丸沼芸術の森が所蔵するアメリカの画家アンドリュー・ワイエス(1917-2009)が、クリスティーナとアルヴァロのオルソン姉弟と、彼らが住んだオルソンハウスを描いた約80点の水彩と素描を展示。また、同時開催として、丸沼芸術の森のアトリエで現在活動中の作家13名の作品も紹介する。

5月25日（土）～7月7日（日）

「ワカラナイ」ノススメ

抽象的な作品を「何を表しているかわからない」と言って敬遠する人は少なくない。しかし「わからない」と感じた時にこそ、作品とそれを前にした人との間に様々なかかわり方が生まれるはずである。この展覧会は、「わからない」からこそ始まる美術作品とのかかわり方を探っていく展覧会。

7月13日（土）～9月16日（月・祝）

日本のプチフェアブル 熊田千佳慕展

2009年に98歳で亡くなった細密画家・熊田千佳慕(1911-2009)の回顧展。「ふしぎの国のアリス」や「みつばちマーヤの冒険」などの挿絵を描き、「フェアブル昆虫記の虫たち」のシリーズで国際的にも高い評価を得た熊田の原画約200点を展示し、彼が愛情を込め、生涯をかけて追い求め続けた生命の姿を紹介する。

9月28日（土）～10月14日（日・祝）

茨城県芸術祭美術展覧会

茨城県、茨城県教育委員会、茨城文化団体連合、茨城県美術展覧会等が主催する全県的な公募展です。

日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン・(書・写真)各部門の入選作品を展示します。

※()の部門は県民文化センターで展示します。

11月2日（土）～1月13日（月・祝）

聖なるものへ

芸術は古来、神や仏への祈りや自然への崇拝など、聖なるものへの畏れ・憧れと密接に結びついてきました。本展では、人智を越えた存在を描いた小川芋銭らの日本画や、厳かな悲しみをはらんでいるともいえる舟越保武の彫刻などを展示します。また、我々の心の内に崇高の感情を呼び起こす現代美術の作品も紹介します。

1月18日（土）～2月9日（日）

第8回現代茨城作家美術展

現在活躍中の茨城の作家たちの日本画・洋画・工芸・デザイン・書・写真を紹介する。

2月15日(土)～3月21日(金)

岡倉天心没後100年記念展

日本の近代美術に大きな足跡を残し、五浦を晩年の拠点とした思想家、美術教育者である岡倉天心(1863-1913)を顕彰する展覧会。天心の指導のもと日本画の革新を目指した五浦の画家たち、横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山の作品と共に、天心の理想は継承されてきたのか、といった観点から現代の作家を選び紹介する。

3月28日(金)～平成26年5月11日(日)

フランス万華鏡

19世紀フランスの諷刺画の巨匠ドーミエの版画作品を中心に、クールベやモネの油彩画を始め現代日本画など19世紀から現代にかけてのフランスの社会・生活風俗、田園・都市風景などを描いた多彩な作品により、近現代フランスの様々な様相を万華鏡のように紹介する。

茨城県近代美術館 平成25年度の所蔵作品展

<展示室1>

4月10日(水)～6月2日(日)	日本の近代美術と茨城の作家たちⅠ
6月4日(火)～7月28日(日)	日本の近代美術と茨城の作家たちⅡ
7月30日(火)～9月16日(月・祝)	日本の近代美術と茨城の作家たちⅢ
10月19日(土)～12月15日(日)	日本の近代美術と茨城の作家たちⅣ
12月17日(火)～2月11日(火月祝)	日本の近代美術と茨城の作家たちⅤ
2月15日(土)～3月21日(金・祝)	日本の近代美術と茨城の作家たちⅥ
3月28日(金)～5月11日(日)	日本の近代美術と茨城の作家たちⅦ

<展示室2>

4月10日(水)～6月30日(日)	コレクション形成の物語1 ー最初の収蔵品から志村巖氏の寄贈まで
7月2日(火)～9月16日(月・祝)	コレクション形成の物語2 ー平成24年度新収蔵作品
10月19日(土)～2月9日(日)	コレクション形成の物語3 版画へのまなざし ー照沼コレクション
2月15日(土)～3月21日(金・祝)	コレクション形成の物語4 ー木内 克を愛したコレクターたち
3月28日(金)～5月11日(日)	コレクション形成の物語6 ー水彩画、大集合!